

特定非営利活動法人日本火山学会 2018 年度秋季大会プログラム

期間：2018 年 9 月 26 日(水)～9 月 28 日(金) (学術講演会)

会場 秋田大学手形キャンパス

連絡先・責任者：2018 年度秋季大会実行委員会 林信太郎委員長

【講演会場】

秋田大学手形キャンパス

〒 010-8502 秋田県秋田市手形学園町 1-1

<http://www.akita-u.ac.jp/>

※交通

JR 秋田駅（新幹線および在来線）より徒歩 15 分.

JR 秋田駅からバス：秋田駅西口より 12 番線 手形山大学病院線（所要時間 5 分；1 時間あたり 2～3 本）
で秋田大学前下車（190 円）.

秋田空港から：秋田駅行きリムジンバスで秋田駅西口下車（所要時間 35 分；930 円），秋田駅西口より手形
山大学病院線で秋田大学前に（所要時間 5 分；190 円）あるいは秋田駅西口より徒歩 15 分.

秋田大学の来訪者用駐車場は限られています。できるだけ公共交通機関をご利用ください.

開催場所の詳細については、以下のサイトを参照してください.

<http://www.akita-u.ac.jp/honbu/access/>

※会場

A 会場：教育文化学部 60 周年記念ホール

B 会場：教育文化学部 3 号館 255 室

ポスター会場：一般教育 1 号館（107 室，302 室，303 室，402 室）

受付：A 会場（教育文化学部 60 周年記念ホール）前・ピロティ

団体（企業）展示：教育文化学部 3 号館 146 室・150 室

休憩室：一般教育 1 号館 301 室



【交流会】

日時：9 月 27 日（木） 18 時 30 分～ 20 時 30 分

会場：秋田大学生協食堂

会費（会場申込）：会員：5,000 円，学生会員：3,500 円

【口頭発表スケジュール】

		A 会場 (教育文化学部 60 周年記念ホール)	B 会場 (教育文化学部 3 号館 255 室)
9 月 26 日 (水)	午後 (13:00 ~ 16:30)	霧島火山	火山化学と火山災害
	午後 (16:40 ~ 18:00)	学生優秀ポスター発表賞・審査タイム	
	午後 (18:00 ~ 19:00)	ポスターセッションコアタイム (一般教育 1 号館 (107 室, 302 室, 303 室, 404 室) 奇数番号 (P01,03,05 ~))	
9 月 27 日(木)	午前 (8:30 ~ 12:15)	東北の火山 - 静穏期の長い火山 - (公募)	火山災害 マグマの蓄積と移動
	午後 (13:15 ~ 14 : 30)	秋田駒ヶ岳の火山活動と噴火警戒レベル 1 での防災対策 (公募)	地殻変動
	午後 (14:45 ~ 15 : 45)	ポスターセッションコアタイム (一般教育 1 号館 (107 室, 302 室, 303 室, 402 室) 偶数番号 (P02,04,06 ~))	
	午後 (16:00 ~ 16 : 10)	会長挨拶 (A 会場)	
	午後 (16:20 ~ 18 : 00)	受賞記念講演 (A 会場)	
9 月 28 日(金)	午前 (8:30 ~ 12:15)	マグマプロセス	モニタリングと地下構造
	午後 (13:15 ~ 16 : 30)	火山現象のダイナミクスと素過程 (公募)	噴火史・噴火推移

※一人あたりの講演時間は 15 分ですが、3 分は質疑応答時間として残すようにしてください。

※講演会場には液晶プロジェクタ 1 台、スクリーン 1 面があります。OHP やプロジェクタは用意できませんのでご注意ください。

【ポスター発表スケジュール】

- ・ポスター掲示時間：9 月 26 日 (水) 13:00 ~ 9 月 28 日 (金) 12:00
一般教育 1 号館 (107 室, 302 室, 303 室, 402 室)
- ・コアタイム：9 月 26 日 (水) 16:40-18:00 (学生優秀ポスター発表賞・審査タイム)
9 月 26 日 (水) 18:00-19:00 (奇数番号 P01,P03,P05 ~)
9 月 27 日 (木) 14:45-15:45 (偶数番号 P02,P04,P06 ~)
- ・パネルの大きさは、幅約 90cm × 高さ約 210cm です。
- ・電源の必要なパソコンやビデオの使用はできません。

【そのほかの行事・会合予定】

- ・9 月 26 日 (水) 18 : 00-20 : 00 会場：秋田大学教育文化学部 3-255 室
火山防災委員会兼火山防災シンポジウム
荒牧重雄氏「浅間山大規模噴火対策の問題点—現地対策本部設置など—」
- ・9 月 29 日 (土) 9 : 30-11 : 50 会場：秋田大学教育文化学部 3-150 室
公開講座 「親子火山実験～マグマを作ろう！カルデラを作ろう！」
- ・9 月 29 日 (土) 13:30-15:40 会場：秋田大学教育文化学部 60 周年記念ホール
シンポジウム「伝説の湖 十和田カルデラの不思議」

【現地討論会】

- 十和田カルデラと奥入瀬溪流（2泊3日）定員：38名
案内者（宮本毅・工藤崇・片岡香子・広井良美），参加費（41,000円）
- 9月28日（金）17時秋田大学発，大滝温泉宿泊
- 9月29日（土）現地討論会，十和田湖休屋宿泊
- 9月30日（日）現地討論会，15時50分JR八戸駅解散

【ジオツアー】

- 男鹿半島・大潟ジオパークの一ノ目潟を間近で見る！！（日帰り）
参加費：5,000円（学生・院生は3,000円）
- 9月25日（火）JR秋田駅東口13:30出発 …八望台…一ノ目潟湖畔散策…道の駅オガレ…
JR秋田駅西口18:30着

- ゆざわジオパークの地熱と水蒸気噴火（1泊2日）
案内者：鹿野和彦氏（産総研）
参加費：17,500～18,850円（ツアー，宿泊，懇親会費含む），ツアーのみの場合6,000円
- 9月25日（火）JR湯沢駅（12:00発）…蓮台寺の堆積物露頭…道の駅おがち（昼食）…
山葵沢地熱発電所…川原毛地獄…宿泊ホテル（18:10着）…懇親会
- 9月26日（水）朝食後解散（秋季大会会場（秋田大学）までは各自移動）

MEMO

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

9月26日(水) 午後

A 会場

霧島火山

座長：斎藤元治・田島靖久・上田英樹・市原美恵

13:00-13:15

A1-01 霧島火山新燃岳 2018 年溶岩の形状とその変化 SfM 方式による地形計測の成果

※千葉達朗・及川輝樹・佐々木 寿
平川泰之・宮縁育夫・中田節也

13:15-13:30

A1-02 霧島火山新燃岳 2018 年 5 月 14 日噴出物の分布と特徴

※宮縁育夫

13:30-13:45

A1-03 霧島火山新燃岳 2018 年 3 月の火山灰測色値変化について

※嶋野岳人・鈴木由希・前野 深
安田 敦・三輪学央・長井雅史・中田節也

13:45-14:00

A1-04 岩石学的解析とメルト包有物分析に基づく霧島火山新燃岳 2018 年噴火マグマの特徴と揮発性成分濃度

※斎藤元治・石塚 治・及川輝樹
大槻静香・松本恵子

14:00-14:15

A1-05 霧島火山, えびの高原 / 硫黄山・新燃岳の火山活動に基づくマルチ活動の理解

※田島靖久・中田節也・前野 深・松島 健
古園俊男・長井雅史・渡邊篤志

14:15-14:30

A1-06 霧島火山えびの高原硫黄山地域 2018 年噴火の噴出物

※長井雅史・田島靖久・前野 深
中田節也・古園俊男・渡邊篤志

14:30-14:45 休憩

14:45-15:00

A1-07 御嶽山と霧島山における深部低周波地震と地表火山活動の関係

※◎栗原 亮・小原一成・竹尾明子

15:00-15:15

A1-08 霧島硫黄山 2018 年 4 月 19 日水蒸気噴火前の地震活動

※森田裕一・高橋大和・大湊隆雄

15:15-15:30

A1-09 大気中の H₂S ガス濃度変化に表れる霧島硫黄山の噴火前兆現象 火山ガスのリアルタイムモニタリング

※大庭憲二・山本泰道・東出和総
大場 武・米満義人

15:30-15:45

A1-10 霧島山の地殻変動から推定されるマグマ蓄積

※中尾 茂・森田裕一・八木原 寛
平野舟一郎・高橋浩晃・太田雄策
松島 健・井口正人

B 会場

火山化学と火山災害

座長：大場武・森田雅明・篠原宏志・久利美和

13:00-13:15

B1-01 草津白根山火山ガス組成の変化と解積

※大場 武・西野佳奈・谷口無我
外山浩太郎・角野浩史

13:15-13:30

B1-02 草津白根山火山周辺の噴気及び温泉ガス中の希ガス同位体組成

※外山浩太郎・角野浩史
川名華織・山根康平・秋山良秀
大場 武・谷口無我・寺田暁彦

13:30-13:45

B1-03 草津白根山・白根火砕丘周辺の浅部熱水系

※◎香取 慧・寺田暁彦・西野佳奈
沼波 望・大場 武

13:45-14:00

B1-04 草津白根山・白根火砕丘南側斜面における気体水銀放域

※◎水谷紀章・寺田 暁彦

14:00-14:15

B1-05 箱根カルデラ内の早川河川床砂化学組成にみられる火山活動の影響

※◎沼波 望
大場 武・西野佳奈

14:15-14:30

B1-06 地球化学的手法による箱根山大涌谷温泉水と火山活動との関係

※西野佳奈・諸石喜大
大場 武・谷口無我

14:30-14:45 休憩

14:45-15:00

B1-07 御嶽山の噴火前後での水環境変化について

※◎浅見和希・小寺浩二・猪狩彬寛・堀内雅生

15:00-15:15

B1-08 阿蘇中岳 2015 年噴火活動期における火山ガス組成の短時間変動

※篠原宏志・風早竜之介・横尾亮彦

15:15-15:30

B1-09 阿蘇火山 2016 年噴火前の噴煙活動：カメラ画像と衛星データの対比

※森田雅明

15:30-15:45

B1-10 火山災害対応で必要としている情報の分析について

※久保智弘・宮城洋介・藤田英輔
棚田俊收・中田節也

15:45-16:00

B1-11 名古屋大学御嶽山火山研究施設

※國友孝洋・田ノ上和志・山岡耕春

- 15:45-16:00
 A1-11 地殻変動データから推定した 2011、2018 年霧島山新燃岳噴火の発生メカニズム ※上田英樹
- 16:00-16:15
 A1-12 A Nonlinear Time Series Analysis of the Harmonic Tremor Observed at Shinmoedake Volcano, Japan
 ※◎ナツメユウキ・市原美恵・武尾 実
- 16:15-16:30
 A1-13 新燃岳直下へのマグマ移動を示唆する長期連続火山性微動 ※市原美恵・大湊隆雄・及川 純
 渡邊篤志・上嶋 誠・武尾 実

- 16:00-16:15
 B1-12 準リアルタイム火山防災情報表示システムの開発 ※大島弘光・宮村淳一・棚田俊收
- 16:15-16:30
 B1-13 火山情報への最近の住民意識：噴火予見性と不確実性の許容 ※久利美和

9 月 27 日 (木) 午前

A 会場

東北の火山 - 静穏期の長い火山 (公募)
 座長：西村太志・伴雅雄

- 8:30-8:45
 A2-01 東北地方の火山の噴火活動の特徴 ※西村太志
- 8:45-9:00
 A2-02 東北地方の火山における火山性地震 —長周期・低周波地震の活動— ※山本 希
- 9:00-9:15
 A2-03 長いコーダ波をもつ深部低周波地震 ※小菅正裕・春山太一
- 9:15-9:30
 A2-04 SP 振幅比を用いた火山深部低周波地震の発震機構解の推定 ※◎及川元己・麻生尚文
 中島淳一・松澤 暢
- 9:30-9:45
 A2-05 蔵王山周辺の火山性地殻変動 ※三浦 哲
 山本 希・出町知嗣・立花憲司・市来雅啓
- 9:45-10:00
 A2-06 十和田火山・中湖カルデラ形成期の活動推移 ※宮本 毅・井澤慶俊・広井良美
- 10:00-10:15
 A2-07 十和田火山カルデラ形成期に発生した小規模ブルカノ式噴火 ※工藤 崇
-
- 10:15-10:30 休憩
-
- 10:30-10:45
 A2-08 重力と磁力データの総合解析 ※水谷滋樹
- 10:45-11:00
 A2-09 岩手火山 (薬師岳火山ステージ) における最近 3500 年間のマグマプロセスの変遷 ※伊藤順一・宮城磯治
- 11:00-11:15
 A2-10 吾妻一浄土平火山噴出物に含まれる非小質火山灰の岩石学的特徴 ※◎井村 匠・大場 司・堀越賢太

B 会場

火山災害
 座長：石崎泰男・石峯康浩

- 8:30-8:45
 B2-01 降下堆積物からみた草津白根火山 2018 年噴火の推移と本白根火砕丘群の熱水系 ※◎亀谷伸子・石崎泰男・石峯康浩
 吉本充宏・寺田暁彦
- 8:45-9:00
 B2-02 草津白根山 2018 年噴火の火口近傍噴出物 ※石崎泰男・亀谷伸子・寺田暁彦・吉本充宏
 本多 亮・石峯康浩・長井雅史・古川竜太
 関口悠子・築田高広・石塚吉浩
 南 裕介・前野 深
- 9:00-9:15
 B2-03 草津白根山 2018 年噴火における放出岩塊の分布 ※吉本充宏・本多 亮・長井雅史・古川竜太
 関口悠子・築田高広・寺田暁彦・石峯康浩
 石崎泰男・亀谷伸子・石塚吉浩
 南 裕介・前野 深
- 9:15-9:30
 B2-04 草津白根山 2018 年噴火における放出岩塊の初期速度の推定 ※石峯康浩・吉本充宏・本多 亮
 石崎泰男・亀谷伸子・寺田暁彦
- 9:30-9:45
 B2-05 草津白根山 2018 年噴火における火山 - 雪氷複合現象を考慮したラハール発生シナリオと流下シミュレーション ※片岡香子・常松佳恵・松元高峰
 卜部厚志・河島克久・長橋良隆
- 9:45-10:00
 B2-06 南阿蘇村立野地区の先阿蘇火山岩類：阿蘇大橋崩落の地質学的要因 ※長谷中利昭・十川翔太
 鳥井真之・佐藤源之
- 10:00-10:15
 B2-07 ステンレス鋼板を用いた山小屋の耐噴石簡易補強方法の提案 ※山田浩之・本多 亮・吉本充宏

11:15-11:30

A2-11 東北日本、鳥海山の紀元前 466 年以降のマグマ供給系の変遷
※伴 雅雄・高橋拓也・佐藤昂徳
林 信太郎・大場 司・新城竜一・西 勇樹

11:30-11:45

A2-12 仙岩地熱地域で約 2 Ma に発生した 2 回の VFI=7 噴火：LA-ICP-MS と SEM-EDS による Sgn-Kd44, Tmg-R4 の認定
※鈴木毅彦・丸山誠史
檀原 徹・平田岳史

11:45-12:00

A2-13 鏝畑コールドロン：田沢湖北東岸の中新-鮮新世カルデラ
※鹿野和彦・柳沢幸夫・大口健志
石山大三・藤本幸雄

12:00-12:15

A2-14 飯豊山地下のマグマの存在：火山になれなかった山
※梅田浩司・浅森浩一

B 会場

マグマの蓄積と移動
座長：筒井智樹・堀田耕平

10:30-10:45

B2-08 富士山割れ目火口列の噴火推移とマグマ供給系：貞観割れ目噴火と御庭奥庭割れ目噴火
※高橋正樹
入佐穂高・小林由布子・宮地直道・安井真也

10:45-11:00

B2-09 地震・空振記録から推定した西之島 2017 年 4 月の噴火再開過程
※武尾 実・大湊隆雄・市原美恵
渡邊篤志・篠原雅尚

11:00-11:15

B2-10 昭和新山屋根山における地震探査（序報）
※筒井智樹・竹井瑠一・多田悠也・森脇知哉
青山 裕・青木陽介・丸山 豪

11:15-11:30

B2-11 三宅島 2000 年噴火の脱ガス期における地殻変動源—三軸楕円体モデルに基づく再検討と脱ガス期以前の地殻変動源との比較—
※及川 純・宗包浩志

11:30-11:45

B2-12 FEM に基づく 2017 年桜島南岳爆発に伴う傾斜ひずみ変化モデル
※堀田耕平・井口正人

11:45-12:00

B2-13 割石温泉—特異な間欠泉活動を伴う自噴泉—その活動
※笠原 稔・田阪茂樹・松原正也・中村 琢
木股文昭・浅井康広

12:00-12:15

B2-14 ハワイ島 East Rift Zone における S 波コーダ Q の時間変化
※山田卓司・Paul G. Okubo

9 月 27 日 (木) 午後

A 会場

秋田駒ヶ岳の火山活動と
噴火警戒レベル 1 での防災対策（公募）
座長：土井宣夫・林信太郎

13:15-13:30

A2-15 噴火警戒レベル 1 の火山における最近の火山情報発表と防災対応の事例
※浦谷純平・藤松 淳
井 智史・赤石一英・菅野智之

13:30-13:45

A2-16 秋田駒ヶ岳の最近の火山活動
※岡田 純
近江克也・松浦茂郎・山村卓也・丹原 裕・関 晋
松村智之・東城孝晶・越谷英樹・若生 勝
和賀栄記・細谷毅州・辻 優介・歳桃真一
舂谷清高・太田健治・小野幸治

13:45-14:00

A2-17 秋田駒ヶ岳，2003 年に始まる火山活動の活発化
※土井宣夫

B 会場

地殻変動
座長：村上 亮・山崎 雅

13:15-13:30

B2-15 上下変動から見た阿蘇カルデラの中長期的活動
※森 濟

13:30-13:45

B2-16 地殻変動観測から考察する 2014 年御嶽山噴火の準備過程
※木股文昭・村瀬雅之

13:45-14:00

B2-17 雌阿寒岳北東で発生した 2016-2018 膨張エピソード
※村上 亮・白木友貴・成田翔平
鈴木敦生・森 濟

14:00-14:15

B2-18 地盤変動と噴気活動から推察される御嶽山 2014 年噴火後の緩和過程
※◎成田翔平・村上 亮

14:00-14:15
 A2-18 秋田駒ヶ岳の噴火警戒レベルへの疑念
 ※齋藤徳美・土井宣夫

14:15-14:30
 A2-19 秋田駒ヶ岳水蒸気噴火の特性と噴火警戒レベル1での防災対応の課題
 ※林信太郎

14:15-14:30
 B2-19 粘弾性火山変動における弾性層厚不均一性の兆候
 ※山崎 雅・高橋浩晃・大園真子
 Tim J. Wright・小林知勝

会長挨拶 (A 会場) 16:00-16:10

A 会場

受賞記念講演
 座長：千葉達朗

16:20-16:35
 S-01 重力観測を用いた火山性流体移動プロセスの把握およびその高精度化に関する研究 ※風間卓仁

16:35-16:50
 S-02 複合地盤変動データに基づく桜島火山におけるマグマ蓄積移動過程の研究 ※堀田耕平

16:50-17:10
 S-03 マグマレオロジーと火山噴火ダイナミクスに関する実験的研究 ※奥村 聡

17:10-17:30
 S-04 火山学と社会をつなげる桜島ミュージアムの挑戦 ※福島大輔

17:30-18:00
 S-05 マグマの発泡と結晶化 ※寅丸敦志

9月28日(金) 午前

A 会場

マグマプロセス

座長：宮城磯治・石塚 治・海野 進・山元孝広

8:30-8:45
 A3-01 栃木県北部、高原火山におけるカルデラ形成期の活動年代とマグマ系 ※◎西野佑紀・長谷川 健

9:00-9:15
 A3-02 阿蘇カルデラにおける最新の珪長質マグマ供給系の深度 ※宮城磯治・星住英夫・宮縁育夫

8:45-9:00
 A3-03 Unearthing tephra deposit, and petrological trace of subvolcanic magma dynamics of two active intra-caldera volcanoes north of the Rabaul volcanic complex-Papua New Guinea ※◎Lloyd Singura・大場 司

B 会場

モニタリングと地下構造

座長：高木朗充・田中 良・宮本成悟・小澤 拓

8:30-8:45
 B3-1 気象庁で行われていた検知管法による火山ガス観測のとりまとめ 吾妻山の事例等 ※高木朗充・谷口正実・太田健治・上田義浩・松末伸一・小窪則夫

8:45-9:00
 B3-2 ドローンを用いた十勝岳における二酸化硫黄放出率測定 ※田中 良・森 俊哉

9:15-9:30
 B3-3 温泉観測に基づいた火山活動の現況把握 ※高橋 良・村山泰司・荻野 激・岡崎紀俊

9:00-9:15
 B3-4 2015年8月の桜島火山における群発地震の震源の時空間変化 ※◎小池 碧・中道治久・大見士朗・井口正人

9:00-9:15

- A3-04 北部フォッサマグナ米山層火山岩類のマグマプロセス—希土類元素組成からの制約—
※◎相澤正隆・新城竜一・岡村 聡
高橋俊郎・藤林紀枝・米山団体研究グループ

9:15-9:30

- A3-05 Spatial and Temporal Variations of Tangkil and Rajabasa Volcanoes, Southern Sumatra, Indonesia and Their Lead into Evolution of Magmas since Pliocene
※◎ Reza Firmansyah Hasibuan・大場 司
Mirzam Abdrrachman・星出隆志

9:45-10:00

- A3-06 角閃石-斜長石共存関係から探る流紋岩質単成火山のマグマだまりプロセス：伊豆カワゴ平火山の例
※◎諏訪由起子・石橋秀巳・外西奈津美・安田 敦

10:00-10:15

- A3-07 斜長石アスペクト比変化から見た温海ドレライトのマグマプロセス—発泡による局所的な過冷却現象？
※◎近藤健太郎・星出隆志

10:15-10:30 休憩

10:30-10:45

- A3-08 火山体崩壊のマグマ供給系への影響 —浅間山での検討（予報）— ※石塚 治・前野 深・片岡香子

10:45-11:00

- A3-09 白山火山最新期噴火のマグマプロセス
※海野 進・茨木柚季・宮下太一郎

11:00-11:15

- A3-10 利尻火山のアダカイト質マグマの起源
※◎谷内 元・栗谷 豪・中川光弘

11:15-11:30

- A3-11 大山火山のアダカイト質マグマ供給系 ※山元孝広

11:30-11:45

- A3-12 桜島火山から噴出する火山灰を構成する斜長石の構造状態（2017年3月～10月） ※松井智彰・足立稜太

11:45-12:00

- A3-13 Petrology and Geochemistry of a young, basaltic volcanism in Palawan, Philippines: Implications on magma source and regional heterogeneities in South China Sea
※◎ James Cesar Refran

12:00-12:15

- A3-14 沖縄トラフ南部の熱水分布と地震活動
※熊谷英憲・関根秀太郎

9:30-9:45

- B3-05 Source Location Determination of Volcanic Tremor on August 23, 2017, at Sakurajima Volcano
※◎ Theodorus Permana・西村太志・中原 恒

9:45-10:00

- B3-06 小規模空振アレイの解析方法の比較 ※◎山河和也・市原美恵

10:00-10:15

- B3-07 活火山での全磁力観測における DI 補正法の適用
秋元良太郎・※山崎 明・山崎貴之・高橋幸祐

10:15-10:30 休憩

10:30-10:45

- B3-08 位相シフト光干渉法振動観測システムによる浅間火山観測 ※平山義治・筒井智樹・池田敏晴
竹内敬二・安藤 浩・大湊隆雄・武尾 実

10:45-11:00

- B3-09 2018年のシナブンおよびメラピ火山噴火
※井口正人・中道治久・為栗 健・下村 誠
Magfira Syarifuddin・Kristianto・Hetty Triastuty
Hanik Humaida・I.G.M.Agung Nandaka
Nurnaning Aisyah・Sulistian

11:00-11:15

- B3-10 ACTIVE 観測から推定される2014-2016年阿蘇山噴火期の地下低抵抗構造の推移

※南 拓人・宇津木 充・歌田久司
鍵山恒臣・井上寛之

11:15-11:30

- B3-11 ミュオグラフィによる大室山スコリア丘の密度構造イメージング～全方位ミュオグラフィ実現に向けた予備観測～ ※宮本成悟・長原翔伍・森島邦博
中野敏行・小山真人・鈴木雄介

11:30-11:45

- B3-12 稠密地震観測から得られた箱根火山の地殻構造
※行竹洋平・安部祐希・本多 亮・酒井慎一

11:45-12:00

- B3-13 大規模人工地震探査による始良カルデラ及び周辺域の地殻構造の解明 (2) 予備的成果と2018年観測計画
※宮町宏樹・高橋浩晃・青山 裕
椎名高裕・高田真秀・一柳昌義・山口照寛
小野夏生・齊藤一真・伊藤ちひろ・村井芳夫
筒井智樹・井上雄介・竹井瑠一・山本 希
平原 聡・中山貴史・東 龍介・大友周平
日野亮太・阿部英二・蔵下英司・岩崎貴哉
篠原雅尚・山田知朗・中東和夫・渡辺俊樹
前田裕太・堀川信一郎・奥田 隆・辻 修平
長谷川大真・片尾 浩・澁谷拓郎・三浦 勉
中川 潤・加藤慎也・山下裕亮・松島 健
手操佳子・宮町凜太郎・磯田謙心・清水 洋
小林劬司・早田正和・仲井一穂・八木原 寛
平野舟一郎・田中康久・川崎慎治・佐藤紀男

12:00-12:15

- B3-14 次世代火山研究推進事業 B2-1：可搬型レーダー干渉計と衛星搭載型合成開口レーダーによる精密地殻変動観測技術の開発 ※小澤 拓・宮城洋介
青木陽介・Xiaowen Wang・奥山 哲

9月28日(金) 午後

A 会場

火山現象のダイナミクスと素過程 (公募)

座長：松本恵子・山田大志・鈴木雄治郎

13:15-13:30

- A3-15 岩脈貫入シミュレーション—マイクロモデルとマクロモデルの結合— ※藤田英輔・井田喜明

13:30-13:45

- A3-16 三宅島火山すおう穴—風早噴火におけるマグマ噴火から マグマ水蒸気噴火への推移とそのメカニズム ※下司信夫・Karoly Nemeth・野口里奈・及川輝樹

13:45-14:00

- A3-17 伊豆大島溶岩のレオロジー特性と内部組織 ※後藤章夫

14:00-14:15

- A3-18 結晶破断から始まる低粘性マグマの破砕 ※三輪学央・下司信夫

14:15-14:30

- A3-19 火道を上昇するマグマ内における水の減圧発泡について：粘性を含む核形成速度の定式化と気泡数密度の再評価 ※◎西脇瑞紀・寅丸敦志

14:30-14:45

- A3-20 苦鉄質マグマの噴火様式に及ぼす温度の影響：伊豆大島 1986 年噴火の例 ※石橋秀巳・種田凌也
安田 敦・外西奈津美

14:45-15:00 休憩

15:00-15:15

- A3-21 非定常気泡変形のモデル化とその火山学的応用 ※◎大橋正俊・市原美恵・寅丸敦志

15:15-15:30

- A3-22 斑晶鉱物から読み解く富士火山宝永噴火のマグマ進化及び噴火過程 ※◎原田智代・飯塚 毅
清水健二・牛久保孝行・浜田盛久
吉本充宏・安田 敦

15:30-15:45

- A3-23 H₂O-CO₂ 二成分系揮発性成分を含む定圧マグマ混合での化学発泡 ※◎中尾美紗子・中村美千彦
奥村 聡

15:45-16:00

- A3-24 船舶レーダによる桜島噴煙柱の観測 ※真木雅之・小堀壮研彦・徳島秀彦
藤吉康志・井口正人

B 会場

噴火史・噴火推移

座長：小林 淳・金子隆之・長谷川 健・宝田晋治

13:15-13:30

- B3-15 十勝岳の噴火事象系統樹：特に想定火口域と分岐確率算定手法について ※中川光弘・松本亜希子・小林卓也

13:30-13:45

- B3-16 New insight the tephra-stratigraphy of Mt. Tangkuban Parahu, Indonesia into Holocene eruption history ※◎Syahraza S. Angkass・Tsukasa Ohba

13:45-14:00

- B3-17 伊豆諸島 新島火山宮塚山イベント以降の噴火史 ※小林 淳・村田昌則・青木かおり・鈴木毅彦

14:00-14:15

- B3-18 白頭山 10 世紀噴火堆積物中の炭化樹木の ¹⁴C ウィゲルマッチング年代 八塚慎也・◎奥野 充
木村勝彦・宮本 毅・長瀬敏郎
菅野均志・中川光弘・金 旭・中村俊夫

14:15-14:30

- B3-19 新富士火山のテフラ対比用データベースの構築について ※安田 敦・田島靖久・嶋野岳人
金子隆之・吉本充宏・西澤文勝・藤井敏嗣

14:30-14:45

- B3-20 有珠火山 1822 年噴火の初期に発生した火砕流について ※堺幾久子

14:45-15:00 休憩

15:00-15:15

- B3-21 那須茶臼岳火山, 1408 年～1410 年噴火 (室町噴火) の推移 ※長谷川 健・北原遼太

15:15-15:30

- B3-22 西之島 2017 年活動の推移—ひまわり 8 号と高分解能画像による検討 ※金子隆之・前野 深・安田 敦
高崎健二・武尾 実

15:30-15:45

- B3-23 Understanding the 2014 Initial Eruption of Mount Kelud, Indonesia through the Product Sequences Revealed in the Western Flank ※◎Astiti Anggoro Wati・Tsukasa Ohba

15:45-16:00

- B3-24 洞爺及び屈斜路火砕流の分布と噴出量推定 ※宝田晋治・宮城磯治・東宮昭彦

16:00-16:15

A3-25 船舶レーダを用いた噴煙柱の鉛直流の観測
※小堀壯彦・真木雅之・徳島秀彦・福島誠治

16:15-16:30

A3-26 桜島噴火における火山灰降下過程の特徴：光学的ディ
ストロメータによる長期連続観測
※小園誠史・井口正人・三輪学央
真木雅之・前坂 剛・味喜大介

16:00-16:15

B3-25 地質学的に推定されるカルデラ形成噴火へのプロセ
ス ※小林哲夫・奥野 充

6:15-16:30

B3-26 阿蘇4火砕流初期の噴火推移
※星住英夫・宮縁育夫・宮城磯治・下司信夫

ポスターセッション

学生優秀ポスター発表賞・審査タイム：9月26日(水) 16:40 - 18:00

ポスター発表・コアタイム：9月26日(水) (奇数番号) 18:00 - 19:00

ポスター発表・コアタイム：9月27日(水) (偶数番号) 14:45 - 15:45

P001 火口埋積溶岩からのブルカノ式噴火のモデル：霧島
新燃岳 2011,2018 年噴火 ※佐藤博明

P002 複数の気象レーダーによる火山噴煙の再構成につい
て—初期結果— ※佐藤英一・福井敬一・新堀敏基
石井憲介・徳本哲男

P003 樽前 a 降下火砕堆積物 (Ta-a) の粒度分布
※西来邦章・広井良美・古川竜太

P004 インドネシア・ケルト火山におけるプリニー式噴
火の推移・物理量の変遷と噴火事象系統樹
※前野 深・中田節也・吉本充宏・嶋野岳人
外西奈津美・Akhmad Zaennudin・井口正人

P005 ハワイの巨大ルートレスコーンの形成過程検討
※野口里奈・大槻静香・栗田 敬

P006 桜島昭和火口における 3 次元 FDTD 法を用いた空振
伝播シミュレーション ※◎石井杏佳・横尾亮彦
Keehoon Kim・藤田英輔・井口正人

P007 移流拡散モデルによる大規模噴火を想定した降下火
砕物予測の課題 (その 2) 数値シミュレーションに
よる降灰確率の試算 ※新堀敏基・藤田英輔
入山 宙・石井憲介・佐藤英一
徳本哲男・山本哲也

P008 溶岩流シミュレーション 55LAVA の開発 ※佐伯和人

P009 十和田火山 火山防災対策のための噴火シナリオ・火
山ハザードマップの作成 ※廣谷志穂・荒井健一
岸本博志・中村圭裕
青森県危機管理局防災危機管理課
秋田県総務部総合防災課

P010 東北地方大峠カルデラ周辺における地震波反射面の
空間分布 ※◎鈴木真奈美・長谷見晶子
岡田知己・松澤暢・海野徳仁・中山貴史
津村紀子・山品匡史

2011 年東北地方太平洋沖地震 合同余震観測グループ

P011 蔵王火山・熊野岳山頂溶岩および馬の背溶岩におけ
る層序と岩石学的特徴 ※◎伊藤直人・伴雅雄

P012 秋田駒ヶ岳の地震波速度構造モデルの検討
山村卓也・丹原裕・柴田要佑・西村有真
松浦茂郎・近江克也・越谷英樹
※岡田純・長谷川嘉彦

P013 蔵王山 2018 年 1-2 月の火山活動とその危機対応
※大石雅之・久保田 勲・佐藤 淳・高橋庄司
若生 勝・越谷英樹・和賀栄記・岡田 純
宮川祐司・長谷川安秀・長谷川嘉彦・水岸研二
小野幸治・太田健治・阿部修嗣・山崎伸行

P014 栗駒山噴気および環境 H₂S 濃度連続観測について
※大場 武・山本泰道・大庭憲二
東出和総・伊藤英之

P015 鳥海火山北麓にかほ市畑～横森地域に分布する火山
麓扇状地堆積物 ※中野史明・大場 司

P016 栗駒火山の完新世噴火史 ※土井宣夫

P017 蔵王火山最新期溶岩の K-Ar および Ar/Ar 年代
※山崎誠子・Daniel Miggins・Anthony Koppers
伴 雅雄・及川輝樹

P018 蔵王火山、五色岳火砕岩類 unit IV-5 のマグマ混合プ
ロセス ※◎佐藤初洋・伴 雅雄

P019 吾妻山における土壌ガス放出量観測 (序報)
※福井敬一・高木朗充

P020 有珠火山 2000 年噴火の噴火準備過程
大西里佳・※東宮昭彦

P021 箱根火山 60ka カルデラ形成噴火に伴う火砕流の噴火
準備過程 ※◎辻原諒・小木曾哲
佐野貴司・石橋秀巳

P022 新燃岳・硫黄山噴火活動に伴った全磁力変化につい
て ※上嶋 誠・小山崇夫・相澤広記・長町信吾

P023 プラグの形成が火道内の増圧過程に与える影響— 1
次元火道流モデルによる解析—
※◎松野千裕・小園誠史

P024 低水蒸気圧下における安山岩質軽石の石基結晶化実
験 ※◎安川宙葵・無盡真弓
中村美千彦・大槻静香

P025 気象予測モデルを併用した新しい二酸化硫黄放出率
推定手法の開発 ※橋本明弘・森 健彦・新堀敏基

- P026 Wiener filter を用いた箱根火山における異方性構造の推定 ※本多 亮・蓬田清
- P027 402 MHz 帯無線テレメータにおける新しい変調方式について ※松島 健
- P028 新潟焼山山頂近傍での臨時地震観測 ※川口亮平・柳澤宏彰
- P029 霧島火山, 2018 年新燃岳噴火の EAI 法による火山灰堆積量 ※田島靖久・中田節也・長井雅史
長谷中利昭・川口允孝・宮縁育夫
前野 深・及川輝樹
- P030 弥陀ヶ原火山地獄谷の火山活動モニタリング ※◎山本大貴・石崎泰男
- P031 御嶽山 2014 年火口壁の崩壊により励起された地震波 ※國友孝洋・堀川信一郎・田ノ上和志・山中佳子
- P032 SATREPS によるインドネシアでの火山観測網の構築と運用 ※中道治久・井口正人
Hetty Triastuty・Hery Kuswandrato
Iyan Mulyana・Umar Rosadi
Hendra Gunawan・G. Suantika・N. Aisyah
A. Budi-Santoso・I.G.M. Agung Nandaka
- P033 吾妻山における STL を用いた地殻変動及び 2014 年から 2016 年の地震活動 ※吉開裕亮・近江克也
- P034 伊豆大島の周辺で起きる地震と地球潮汐の関連について ※高山博之・山本哲也
- P035 防災科研 V-net が観測した霧島山新燃岳 2018 年噴火と 2011 年噴火の地震記録の比較 ※山田大志・上田英樹・棚田俊收
- P036 Spectral ratio analyses of acoustic waves excited by Vulcanian eruptions at Sakurajima volcano ※◎ Mohammad Hasib・西村太志・中原 恒
- P037 地震波干渉法解析による雌阿寒岳における地震波速度変化 ※◎小野夏生・青山 裕
- P038 霧島火山での広帯域 MT 観測 ※相澤広記・塚本果織・Agnis Triahadini
村松 弾・林田祐人・湯浅雄平
Alutsyah Luthfian・手操佳子・武石貢佑
神田 径・木下貴裕・関 香織・宇津木充
小山崇夫・上嶋 誠
- P039 全方位ミュオグラフィによる火山観測の実現可能性 Filterd Back Projection 法を大室山地形モデルに適用した場合 ※◎長原翔伍・宮本成悟
- P040 ミュオグラフィによる大室山スコリア丘の密度構造イメージング～写真乾板を用いた小型観測器によるテスト実験～ ※宮本成悟・長原翔伍・森島邦博
中野敏行・小山真人・鈴木雄介
- P041 2018 年 3 月桜島アクロス稠密観測(序報) ※前田裕太・渡辺俊樹・宮町宏樹・山岡耕春
國友孝洋・辻 修平・佐伯晃聖
- P042 草津白根山における空中磁気測量 ※小山崇夫・神田 径・宇津木充・金子隆之
大湊隆雄・渡邊篤志・辻 浩・本多嘉明
- P043 箱根大涌谷の 3 次元比抵抗構造と熱水系 ※関 香織・神田 径・萬年一剛・高倉伸一
小山崇夫・野口里奈・行竹洋平・石川将暉
深井雅斗・原田昌武・安部祐希
- P044 地震波減衰を用いた富士山, 箱根火山のマグマ溜りの推定 ※柏木広和・中島淳一・松澤暢
- P045 箱根大涌谷地域における比抵抗構造とその時間変化 ※萬年一剛・棚田俊收・城森 明
赤塚貴史・藤本光一郎
- P046 阿蘇を中心とした Network-MT 観測点配置による別府-島原地溝の 3 次元比抵抗分布モデル ※畑 真紀・上嶋 誠・田中良和・橋本武志
吉村令慧・大志万直人
- P047 アナログ実験による間欠泉内部圧力変動の周波数特性変化についての考察 ※◎手島法子・寅久敦志
- P048 伊豆大島の多成分ひずみ計の複数の傾斜計を利用した検定 ※小久保一哉・山本哲也
- P049 ストロンボリ火山の山頂小爆発活動に伴う傾斜変動(2) ※◎石川 歩・西村太志・青山 裕・川口亮平
藤田英輔・三輪学央・山田大志
Maurizio Ripepe・Ricardo Genco
- P050 桜島火山における精密重力測定(2014 年～2017 年) ※山本圭吾・大島弘光・風間卓仁・前川徳光
岡田和見・園田忠臣・平良真純
- P051 2016 年熊本地震後の粘弾性緩和と阿蘇カルデラ周辺の地下構造との関係 ※◎不破智志・大園真子
- P052 GNSS キャンペーン観測による霧島硫黄山の圧力源の推定(2017 年 8 月～2018 年 7 月) ※古賀勇輝・松島 健・内田和也
村松 弾・渡邊早姫・磯田謙心・岩佐悠一
- P053 草津白根山の最近の地殻変動 ※矢来博司
藤原智・森下 遊・小林知勝・宗浩浩志
- P054 霧島山 2017～2018 年噴火に伴う地殻変動 ※藤原 智・矢来博司・小林知勝
森下 遊・小沢慎二郎
- P055 だいち 2 号で見た西之島の地表変化 ※安藤忍・奥山哲・福井敬一・及川輝樹
- P056 Sentinel-1 データ収集・配布システムの構築 ※奥山 哲・小澤 拓・青木陽介
- P057 火山表面現象遠隔観測技術(SPIC-SS)の開発 ※實測哲也・三輪学央・長井雅史
- P058 「しきさい」(GCOM-C) が捉えたハワイ, キラウエア火山 2018 年の活動 ※金子隆之・安田 敦
高崎健二・本多嘉明・梶原康司・村上 浩
- P059 火山灰移流拡散モデルの予測結果を用いた擬似衛星画像作成の試み 林 洋介・◎土山博昭・新堀敏基
- P060 気象レーダーを用いた噴煙解析ツールの開発 ※千馬竜太郎・佐藤英一
- P061 室内試験による SPC と PARSIVEL2 の降灰粒度計測の比較 ※久保智弘・宮城洋介・三輪学央
入山 宙・長井雅史

- P062 日本の沈み込み帯における噴火頻度の推定
※清杉孝司
- P063 角閃石斑晶・クリスタルクロットを用いた雲仙平成噴火のプレ噴火過程の制約 ※◎岩橋くるみ
安田 敦・石橋秀巳・外西奈津美
- P064 雌阿寒火山、螺湾火砕流堆積物の縞状軽石から推定されるマグマ混合の進行過程
※和田恵治・遠藤優磨・佐藤鋭一
- P065 火山噴出物粒子の X 線元素マッピングによる識別
※松本恵子・大槻静香・下司信夫
- P066 中国地方・女亀山玄武岩マグマの生成過程の解明
※柵山徹也・前田奏絵・長谷川祐太
- P067 雌阿寒岳、阿寒富士のマグマ供給系の時間変化
※佐藤鋭一・和田恵治
- P068 妙高火山第 IV 活動期の火山地質学及び岩石学
※◎中島壮太郎・石崎泰男・野寺 凜
- P069 長野県、高社火山に見られる軽石層と飯綱上樽テフラの対比 ※◎高杉直彰・齋藤武士
牧野州明・鈴木毅彦
- P070 霧島火山、新燃岳 2018 年噴火噴出物の岩石学的特徴
※◎川口允孝・長谷中利昭・田島靖久
安田 敦・外西奈津美
- P071 Disequilibrium features found among Janoo scoria, Akamizu lava and ACPI tephra, precursory event of Holocene basaltic volcanism of Aso Volcano, SW Japan
Florian Brouille・※長谷中利昭・川口允孝・西山忠男
- P072 阿蘇後カルデラ期約 5 万年前のカンラン石に富む降下スコリア中の鉱物・メルト包有物組成
※永石良太・川口允孝・長谷中利昭
島井真之・安田 敦・外西奈津美
- P073 噴火活動評価のための火山噴出物カタログの作成
※大槻静香・松本恵子・下司信夫
- P074 ピロタキシティック組織の再現実験 ※◎櫻井亮輔
中村美千彦・奥村 聡・無盡真弓・中谷貴之
- P075 清風海山玄武岩質マグマの融解条件
※◎足立勝美・柵山徹也・石井輝秋
- P076 Aso-4 珪長質マグマの噴火前蓄積温度圧力条件
※潮田雅司・宮城磯治・鈴木敏弘・星住英夫
高橋栄一・横山哲也
- P077 斜長石の組織・化学組成に及ぼす冷却速度の影響：玄武岩質メルトの動的冷却結晶化実験
※◎種田凌也・石橋秀巳・外西奈津美・安田 敦
- P078 草津白根火山、太子火砕流堆積物の岩石学的研究
※◎勝岡菜々子・石崎泰男・寺田暁彦
- P079 伊豆諸島新島火山 886 年向山流紋岩質噴火のマグマ供給系—安山岩質包有物と鉱物化学組成からの制約—
※吉倉 諱・津久井雅志
- P080 オマーンオフィオライト北部の V2 期岩脈群の岩石学
※◎普代貴大・海野 進・草野有紀・山路 敦
- P081 白山火山、南竜噴火の岩石学
※◎宮下太一郎・海野 進・茨木柚季
- P082 秋田駒ヶ岳火山、主成層火山形成期の噴火活動及びマグマ供給系 ※柳澤妙佳・藤縄明彦
- P083 伊豆諸島 神津島火山那智山北部におけるテフラ層序と噴火史 ※村田昌則・小林 淳・西澤文勝
石村大輔・鈴木毅彦
- P084 箱根火山神山・大涌谷周辺の火口状地形と噴火堆積物の層序・年代 ※小林 淳・萬年一剛
長井雅史・千葉達朗
- P085 伊豆大島安永噴火における層序の細分化と噴火推移の再検討 ※◎池永有弥・前野 深・安田 敦
- P086 1792 年島原大変—雲仙噴火・崩壊と雲仙仙断層群の運動— ※津久井雅志
- P087 北八ヶ岳、横岳最新 2 溶岩の古地磁気学的年代推定 ※◎新田寛野・齋藤武士
- P088 弥陀ヶ原火山第 3 期活動噴出物の地質と岩石 ※◎松本弥祿・石崎泰男
- P089 Petrographic and geochemical features of tephra from the Kamo monogenetic volcanic group, southern Kyushu, Japan. ※◎Nche Linus・長谷川健
小林哲夫・Festus Aka
- P090 ハワイ島キラウエアアカルデラ 2018 年陥没 ※宇井忠英
- P091 ボーリングコアからみた霧島山えびの高原周辺の火山活動史の再検討 ※◎赤崎文香・井村隆介
- P092 火口周辺の火山ガス・熱水による変質鉱物と火山体浅部の熱水系—薩摩硫黄島火山の例— ※濱崎聡志
- P093 20 万分の 1 全国火山図の開発 ※川辺慎久
中野 俊・宝田晋治・石塚吉浩・古川竜太
工藤 崇・山元孝広・及川輝樹
- P094 大規模カルデラ噴火の前駆活動 ※西野佑紀・宝田晋治
- P095 白山火山群の形成史と岩石学的進化 ※藤原 寛・石崎泰男
- P096 羅臼岳火山の完新世噴火史の再検討 ※石塚吉浩・中野 俊・廣瀬 亘
- P097 硫黄島馬背岩（離岩）付近での新たな土砂噴出活動 ※古川竜太・星原一航・掛谷勇介
福井敬一・谷口無我・大場 武
- P098 富士山・大淵丸尾溶岩流上流部の溶岩樹型による溶岩降伏値の推定 ※本多 力・勝間田隆吉
畑中 将・菊地健二・川村一之
- P099 三宅島北東沖で観察された海底溶岩流の形態特徴 ※◎藤巻三樹雄・坂本 泉・石塚 治
- P100 火砕物の粒度・密度特性から見た富士火山大室山の噴火 ※◎鈴木皐暉・石崎泰男・吉本充宏
馬場 章
- P101 4 次元変分法による噴煙柱から離脱する火山灰粒子の高度分布の解析 ※石井憲介・新堀敏基
佐藤英一・徳本哲男・橋本明弘
- P102 PARSIVEL2 で観測した霧島山新燃岳 2018 年噴火の降下火山灰 ※入山 宙・藤田英輔・三輪学央
長井雅史・久保智弘

- P103 火山ガラス組成から見る幸屋火砕流堆積物の流動様式
の推移 ※中岡礼奈・鈴木桂子
- P104 相関係数 ^{14}C マッチング法の提案：B-Tm テフラを例
として ※奥野 充・八塚慎也・木村勝彦
坂本 稔・箱崎真隆・ホンワン・三宅芙沙
増田公明・中村俊夫
- P105 霧島火山新燃岳 2018 年噴火のテフラ量（その 1）
※及川輝樹・長井雅史・中田節也・田島靖久
宮縁育夫・嶋野岳人・三輪学央・入山 宙
石塚 治・川辺禎久・伊藤順一・前野 深
長谷中利昭・川口允孝
- P106 気象庁のた成分火山ガス観測装置による観測結果
(2015～2018 年) ※北川隆洋・高木朗充
- P107 二酸化硫黄放出量の自動観測へ向けた基礎データの
収集～その 2～ ※森 健彦・鹿児島地方気象台
福岡管区気象台
- P108 霧島硫黄山における火山ガス組成連続観測
※森田雅明・篠原宏志・風早竜之介
- P109 箱根山大涌谷における温泉水の地球化学的特徴
※◎諸石喜大・西野佳奈・左金正和
大場 武・谷口無我
- P110 霧島山硫黄山周辺の湯だまり・湧水・河川水の化学・
安定同位体組成 ※谷口無我・大場 武・西野佳奈
外山浩太郎・福岡管区気象台・鹿児島地方気象台
- P111 新燃岳 2018 年噴火前後の上空二酸化硫黄量測定
※森 俊哉
- P112 2018 年 1 月草津白根山噴火前後の周辺水環境の水質
変動と降灰の影響 ※◎猪狩彬寛・小寺浩二
浅見和希
- P113 箱根山における群発地震を伴わない噴気組成の変化
※代田 寧・大場 武・谷口無我
十河孝夫・原田昌武
- P114 箱根山噴火が周辺水環境へもたらす影響
※浅見和希・猪狩彬寛・小寺浩二・堀内雅生
- P115 群馬県草津温泉の組成経年変化と草津白根山の火山
活動との関係 ※山本春香・深井 恵・木川田喜一
- P116 霧島硫黄山の火山活動に伴う湧水の水質変動
※深井 恵・Deng Wei・山本春香・木川田喜一
- P117 焼岳火山の噴気の化学・同位体組成
※◎澤村 俊・齋藤武士・網田和宏
三島杜智・大沢信二
- P118 ハワイ島マウナロア火山における歴史溶岩に含まれ
る初生アルゴン同位体比の変化 川村瑠璃
※佐藤佳子・熊谷英憲・羽生 毅・田上高広
- P119 御嶽山火山マイスターが創る新たな“火山防災”の
取組 ※窪田優希・田ノ上和志
- P120 えびの高原 2018 年 4 月噴火前後の湧水等の水質変化
※伊藤英之・辻 盛夫・井村隆介
- P121 テフラ・水・雪からなる混合物の流下実験
※◎沖田竜馬・河島克久・松元高峰
片岡香子・渡部 俊
- P122 火山噴火ニュースへの社会的反応分析—Yahoo!
ニュースのコメント文解析を通じて— ※山田 耕
- P123 3D 噴石飛散シミュレーションのハザードマップへの
展開 ※山田浩之・國武千人・岩切宗利・佐々木寿
有珠山 2000 年噴火による旧とうやこ幼稚園周辺の噴
石分布 ※成毛志乃・佐々木寿・山田浩之
- P125 世界ジオパークネットワークの火山地域ワーキング
グループの活動 ※中田節也
- P126 キッチン火山実験でパホエホエ溶岩をつくろう
※横山 光・前田哲良